

# 富士山の恵みファーム

2年の研修を経て2014年に新規就農し富士宮市の上条や外神にて有機栽培で年間40種類以上の野菜を育てています。以前に20年以上勤めた会社は子供のころから憧れていた大手のゲーム会社、まさか辞めて農業をやるとは・同僚も家族もびっくりです。

まさに畑違いですが、きっかけは会社で仲の良かった方々のご実家が農家や漁師で、お手伝いする機会やお話を聞く機会が度々あったことです。

大自然と格闘しながら人が生きるために最も必要な食べ物を作られている姿に触れたことでした。生産者って凄い！自分でもチャレンジしてみたいと思い早期退職。今では取引先や個人のお客さん、会社員時代の同僚に有機の野菜っておいしいって言ってもらえるのがよりの励みです。

子どもたちも農業の手伝いをしてくれます



周りの皆様や家族に支えられながら新たなスタートができたことに日々感謝しています。  
(2015年7月記)

## 富士山の恵みファーム 横野 雄一

就農:平成26年4月 畑の場所:富士宮市 外神、上条  
栽培面積:畑66a 栽培作物数:40種類  
主力作物:葉物、玉ねぎ、人参ジュース  
連絡先:[fujisan-farm.jp/](http://fujisan-farm.jp/)



### 活動紹介

#### 「秋の大感謝祭」

毎年11月23日の勤労感謝の日に行っている秋の大感謝祭。平成28年で20回目を迎えました。当初は、仲間の農家が自分たち育てた作物を持ち寄って、飲んで食べる、という集まりだったのですが、参加する農家も増え、お客さんも増え、今では富士宮・富士の有機農家を中心としたオーガニックな人たちが集まる大きなお祭りとなりました。

このお祭りの特徴は、農家自身がすべてを準備して農家も楽しむということ。



野菜や料理で  
おもてなし

近年、各地でいろんなマルシェや朝市が行われていますが、農家が主体となり農家が運営するものはいと少ないです。

農家自身が育てた野菜を使った料理。その他、音楽、寸劇、落語：など盛りだくさん。

最後は、アイニケ隊のアフリカ太鼓に合わせ、お客さんも農家も一緒に稲わらをもって踊り、「ふるさと」を合唱して、1年間の感謝と、来年の豊作を願います。

そもそも11月23日の勤労感謝の日は、宮中祭祀である新嘗祭(いなめさい)で、天皇陛下が神様に五穀豊穰を感謝する収穫祭の日です。

この時期は、1年でもっとも野菜が採れる時期です。農家になって、その有難みをひしひしと感じています。



アフリカ太鼓の稲わら踊り